



本丸だより

令和5年度 第5号 令和5年9月8日(金)

新発田市立本丸中学校

新発田市緑町2-7-22

TEL 0254-22-2525

FAX 0254-22-0342

<https://honmaru.shibata.ed.jp/>



すべてためになる ～あきらめず 調整し粘り抜く～

校長 三浦 学

危険な暑さが長らく続く中、無事2学期がスタートし、体育祭が明日9日となりました。熱中症事故防止のため中止・延期の検討も求められる折、対策に万全を期して実施いたします。その一環として開閉会式の内容も見直し、校長挨拶も控えさせていただきたいと存じます。この場を借りまして、御来賓、保護者、地域の皆様に深く感謝し御礼申し上げます。本丸魂を燃やす生徒の皆さんの輝く姿をとくにご覧ください。なお、始業式では次のような話(抜粋)をしました。

いよいよ2学期が始まります。新たなスタートに皆さんが、きょう、こうして、いてくれることが何より嬉しいことです。夏休み中、皆さんの活躍する姿、頑張る姿がいろいろありました。全国大会、北信越大会(中略)。新型ウイルスについては、5類になり気持ちが本当に楽になりました。しかし、感染すれば休まなければならなくなったり、学級閉鎖になったりすることは変わりません。油断せず、状況に応じて必要な感染対策は徹底し、2学期も行事に受験勉強や勉強、部活動に思いきり取り組んでいけるようにしましょう。

さて、この後は、全中、全国大会に出場した方々に学び、2学期に活かしていきたいことについて話をします。卓球女子個人は、北信越大会で優勝し、全国大会に出場しました。一回戦シード、二回戦に勝利し、三回戦で惜敗。1ゲームずつ取り合った後、3ゲーム目も接戦となり、4ゲームまで粘り強く戦い抜きました。

男子バスケットボール部は、北信越大会準優勝で全国大会に出場。予選リーグを2位で通過し決勝トーナメント進出。その初戦、4点差で惜しくも敗れました。前半、20数点差をつけられましたが、思うようにいかない苦しさでも崩れず、あきらめませんでした。後半、3年生がよく支えてくれて、ふんばって、2年生も果敢にプレイしました。会場は、大逆転もあるぞ、という雰囲気になっていきました。結果は4点差でしたが、決してあきらめないで全力を尽くす姿を見せ、会場を感動させてくれました。まさに、本丸魂を存分に発揮してくれました。

卓球女子個人も、男子バスケの皆さんも、これまでのさまざまな苦しみを乗り越え、全中という晴れの舞台で躍動しました。全国大会という目標に向かう、その過程、プロセスでも、思うようにいかないこと、苦しさ、悔しさなど色々あったと思います。そのときに全中での試合のようにあきらめず、粘り強く、情熱・やる気をたぎらせ、知恵を働かせ工夫して、いわば自分で調整し苦しみから学んで、苦しみを学びにして、全中での活躍という目標を果たせたのだと思います。

2学期は、大きな行事や部活動の大会、受験勉強、定期テストなど、さまざまなことがあります。そのさまざまなことに取り組む中で、苦しさや思うようにいかないことなどがあっても、あきらめずに、粘り強く、何とかして、調整して目標に向かっていく。苦しさ、悔しさなど、その「すべてがためになる」のです。よい2学期、よい未来をみんなで創っていきましょう。

「すべてためになる」。森信三氏は言いました。苦しみは学びとなり、夢の舞台に立つために情熱をたぎらせ、知恵を働かせて前へ進むと(参考図書(講話でも): 栗山英樹著『栗山ノート2 世界一への軌跡』)。

今、学習について、目標を設定し直して意欲を高めるなど、自分で調整して感情や行動をコントロールできる「自己調整力」や粘り強さが重要になっています。全中出場の皆さんのように自己調整力や粘り強さを行事や受験、部活動等でも高め、新たな目標を達成してほしいと願っています。保護者、ご家族、地域の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

